

NEXT GIGA の 「個別最適な学び」と「校務DX」

<本資料をご覧の皆さまへのお願い>

本PDFは、2024年6月21日に株式会社COMPASSが開催したオンラインイベント
“NEXT GIGAの「個別最適な学び」と「校務DX」”において
ゲストの東明館学園様、SasaeL様、およびCOMPASSより発表した資料です。

※奈良市教育委員会様の資料の配布はございません。下記アーカイブ動画にてご覧ください。

イベント参加者の皆様との情報共有のために展開させていただいているものですので、
資料・資料内の情報の無断転載はご遠慮ください。

また、本セッションの様子はキュビナ公式Youtubeチャンネルに公開しています。
ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/p3XX2u8Axcg>

※記載の情報、登壇者に関する情報はイベント開催時点のものです。

PART2 SESSION 4 パネルディスカッション

NEXT GIGAにおけるこれからの学校のあり方



デジタル庁
国民向けサービスグループ
企画官（教育班担当）

久芳 全晴 様



奈良市教育委員会事務局
教育DX推進課
教育ICT推進係長

米田 力 様



学校法人東明館学園 理事長・校長
文部科学省 中央教育審議会
初中等部会臨時委員
宮崎市教育CIO
株式会社COMPASSファウンダー

神野 元基 様



株式会社SasaeL
代表取締役社長

村中 順紀 様



株式会社COMPASS
未来教室

板橋 和政

- デジタル学習基盤と校務支援システムの連携実践事例
- ディスカッション「NEXT GIGAにおけるこれからの学校のあり方」

ゲスト登壇者のご紹介



デジタル庁
国民向けサービスグループ
企画官（教育班担当）

久芳 全晴 様

省庁



奈良市教育委員会事務局
教育DX推進課
教育ICT推進係長

米田 力 様

教育委員会



学校法人東明館学園 理事長・校長
文部科学省 中央教育審議会
初中等部会臨時委員
宮崎市教育CIO
株式会社COMPASSファウンダー

神野 元基 様

学校



株式会社SasaeL
代表取締役社長

村中 順紀 様

事業者

デジタル学習基盤と校務支援システムの連携実践事例

校務DXに関する COMPASSの取り組み

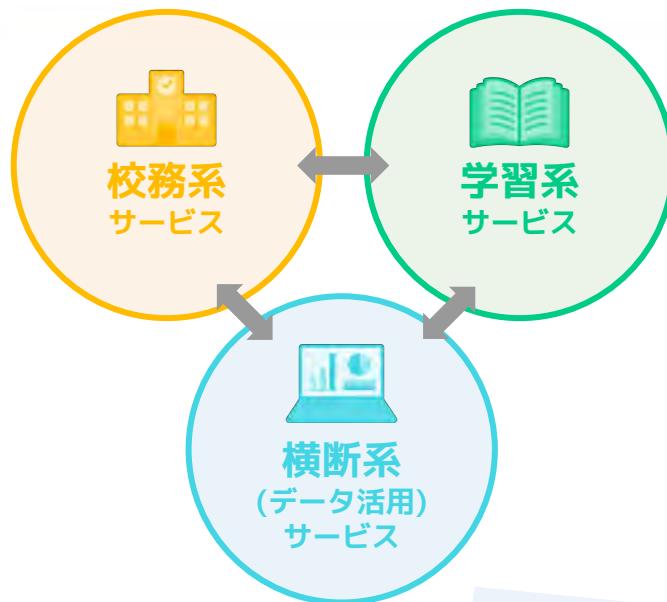
キュビナのデータ利活用の取り組み



国際技術標準規格
OneRoster
準拠の校務支援システム

校務支援
システム

心の
健康観察
etc.



 心が動く、その先へ。
日本文教出版

 教育出版

 学校図書株式会社

デジタル
教科書

デジタル
教材

CBT

 Gubena
キュビナ

 MEXCBT
メクビット



奈良市

ほか
3自治体



まなびポケット



データレイク

ダッシュボード

学習eポータル

etc.

校務DXに関するCOMPASSの取り組み 校務支援システムとの名簿連携

名簿連携により、従来サービスごとに実施していた年次更新作業を大幅に効率化



- 今年度、数万人規模の自治体含む6自治体で名簿連携による作業実施
- 従来の**3分の1以下**の時間で作業が完了

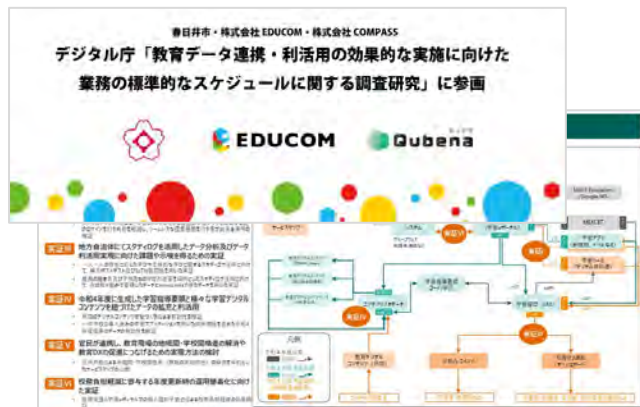
マニュアルが分かりやすく
作業はスムーズに行えた

一部突合の作業は必要だが、
格段に楽になった

校務DXに関するCOMPASSの取り組み 省庁関連実証への参画

デジタル庁のデータ利活用実証事業を、 春日井市/EDUCOM、鹿児島市/NTTコミュニケーションズと共同で実施

<デジタル庁実証:春日井市>
EDUCOMの校務支援システム「C4th」と
キュビナのUUID統合を実施



<デジタル庁実証:鹿児島市>
Nコムの学習eポータル「まなびポケット」へ
キュビナの学習データを連携



デジタル学習基盤と校務支援システムの連携実践事例

校務DXに関する 奈良市教育委員会の取り組み

奈良市教育委員会様のご発表資料のPDF配布はございませんが
下記アーカイブ動画にてご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=p3XX2u8Axcg&t=426s>

デジタル学習基盤と校務支援システムの連携実践事例

校務DXに関する 東明館学園の取り組み

The background of the slide is a composite image. It features a city skyline at the bottom, likely New York City, with numerous skyscrapers. The sky is a vibrant orange and yellow, suggesting a sunset or sunrise. Overlaid on this scene are various digital and data-related graphics. These include several bar charts of different heights and widths, some with numerical labels. There are also line graphs with fluctuating lines, pie charts, and circular progress indicators. A network of thin, glowing blue lines connects various points across the image, creating a sense of connectivity and data flow. The overall aesthetic is high-tech and modern, emphasizing the theme of artificial intelligence and digital transformation.

-人工知能時代にあるべき学校の姿-

神野 元基(じんの げんき)

株式会社COMPASS ファウンダー

合同会社LINKALL 代表

文部科学省 中央教育審議会 初中等部会臨時委員

企画特別部会委員(学習指導要領改定部会)

宮崎市 教育CIO

佐賀市 教育ビジョン策定アドバイザー

東明館中学・高等学校 理事長校長

- ・北海道網走市出身
- ・慶應義塾大学在学中より起業家として活動
- ・2010年 シリコンバレーで起業
- ・2012年 八王子で学習塾 COMPASSを開校
- ・2014年 AIDRILL Qubena(キュビナ) の開発に着手
- ・2019年 中央教育審議会 臨時委員に就任
- ・2021年 宮崎市 教育CIO 就任
- ・2022年 東明館中学・高等学校 校長就任
- ・2023年 学校法人東明館学園 理事長就任



経験こそ学び。
将来を見据えた
新しい教育。

説明会・オープンスクール申し込み

【続報】東明館高校「野球部は休部」 パワハラ問題、監督は退任 保護者会で学校側が説明 佐賀県

2023/08/04 07:00

三養基郡基山町の私立東明館高の野球部監督がパワーハラスメントを繰り返したとして野球部員が退任を求めている問題で、同校は3日夜、野球部の臨時保護者会を開き、神野元基校長が「本人の申し入れにより監督が退任し、野球部を休部する」と説明した。

出席した保護者によると、学校側は、監督はパワハラによる謹慎から復帰した3月時点から不調を訴えていて、今回の退任に関する要望書を受けて悪化したため2日に退任を申し入れたと説明した。3日から休職しているという。

監督と野球部長の退任を求める保護者有志の通報・請願書も同校などに出されている。神野校長は「監督と部長が不在では部活動はできない」として休部することを示した。期限は言及しな



画像を拡大する



「いっちょかみ」が自分の世界を広げる。分断社会を克服する哲学

Yahoo! JAPAN ヘルプ ヲエダ無断

YAHOO! JAPAN ニュース gen 残高あり（全額を表示する） 最大半額クーポンが返っています

キーワードを入力

マイページ 購入履歴

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング 有料

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域 トピックス一覧

東明館高校野球部「明確なパワハラは認められない」 学校側が調査結果を公表【佐賀県】

(8/31日) 15:02 配信 12 12 12 12 12 12

SAGATV

基山町にある東明館高校の野球部員がパワーハラスメントを受けたとして監督の退任を求めた問題で、学校側は「明確なパワハラは認められない」との調査結果を公表しました。

この問題は今年7月、東明館高校の野球部員が練習中に暴言などのパワハラを受けたとして学校宛てに男性監督の退任を求める要望書を提出したものです。

学校の調査委員会は関係者に聞き取りなどをした結果、「人格非難や誹謗中傷など明確なパワハラに当たり得る言動までは認められない」との判断を示しました。

サガテレビ

すぐ横になりたい人へ

実は、体の中の「横」が原因で疲れやすい体になっているかもしれません。

すぐ横になりたい人へ

8月4日
出典:佐賀新聞

10月30日
出典:yahooニュース

GIGAスクール構想の実現

G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



2030年改定学習指導要領主要テーマ

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (令和6年12月25日中央教育審議会諮問)【概要】

子供たちを取り巻くこれからの社会の状況

- 不確実性の高まり（少子化・高齢化、グローバル情勢の混沌、生成AI等デジタル技術の発展等）
→子供たちは、激しい変化が止まることのない時代を生きる
- 労働市場の流動性の高まり、マルチステージの人生モデルへの転換
→自らの人生を能く取りする力を身に付けることの重要性
- 内なるグローバル化やデジタル化の負の側面等による社会の分断の芽への指摘
→多様な他者と、当事者意識を持った対話により問題を発見・解決できる「持続可能な社会の創り手」を育てる必要性
- テクノロジーは変化に伴う困難だけでなく多様な個人の思いを具現化するチャンスも生み出す
→生産年齢人口が急減する中、あらゆる資源を総動員し、全ての子供が豊かな可能性を開花できるようにすることが不可欠

現在の学校現場の状況

- 現行学習指導要領は、「社会に開かれた教育課程」を理念に掲げ、「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるか」を明確化し、「どのように学ぶか」の重要性を強調し、「主体的・対話的で深い学び」の観点からの授業改善を提示
- コロナによる制約に苦しみながらも、GIGAスクール構想による1人1台端末環境も活用し、積極的な授業改善が行われてきた
- 全国学力・学習状況調査やOECDのPISA調査において地域間格差・学力格差の改善も見られている
→我が国の初等中等教育は、質の高い教師の努力と熱意を支えられ、大きな成果を上げ続けている

顕在化している課題

①主体的に学びに向かうことができていない子供の存在

- ・学ぶ意義を十分に感じだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供の増加
- ・不登校児童生徒、特別支援教育の対象となる児童生徒や外国人児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の充実とともに、多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の表現が喫緊の課題
- ・これらに向き合うことは、「正解主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも重要

②学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

- ・習得した知識を現実の事象と関連付けて理解すること、概念としての知識の習得や深い意味理解をすること、自分の考えを持ち、根拠を持って明確に説明すること、且目的に学ぶ自信がある生徒が少ないこと、等に依然として課題
- ・子供の社会参画の意識、将来の夢を持つ子供の割合等についても、改善傾向も見られるものの国際的に見て低い状況

③デジタル学習基盤の効果的な活用

- ・デジタル学習基盤(*)は、一人一人のよさを伸ばし、困難の克服を助ける大きな可能性を秘めているが、効果的な活用は緒に就いたばかり
- ・我が国のデジタル競争力は国際比較でも低位であり、デジタル人材育成強化は喫緊の課題
- ・「デジタルの力でリアルな学びを支える」どの基本的な考えに立ち、バランス感覚を持って、積極的に取り組む必要

(*) GIGA スクール構想による1人1台端末環境等でのデジタル学習基盤

- 子供たちが社会で活躍する2040年代を展望するとき、初等中等教育が果たすべき役割はこれまで以上に大きい
→これまでのよい部分を継承し、課題を乗り越え、高等教育との接続改善や国
- 教師の努力と熱意に対して過度な依存はできず、教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合う必要性
→令和6年8月の中央教育審議会答申に基づく教員の勤務環境整備と

□ 「Society5.0」「不登校」「教員多忙化」



内閣府
Cabinet Office

Society5.0

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を
高度に融合させたシステムにより、
経済発展と社会的課題の解決を両立する、
人間中心の社会(Society)

新たな社会
“Society 5.0”

5.0



4.0



Society 4.0 情報

[内閣府作成]

1.0

Society 1.0 狩猟

2.0

Society 2.0 農耕

Society 3.0 工業

3.0

AIに奪われる仕事、奪われない仕事

AIに奪われる仕事(自主的な仕事)

- 指示されたことを高効率でこなす仕事
- ルーティン化できる作業
- ...

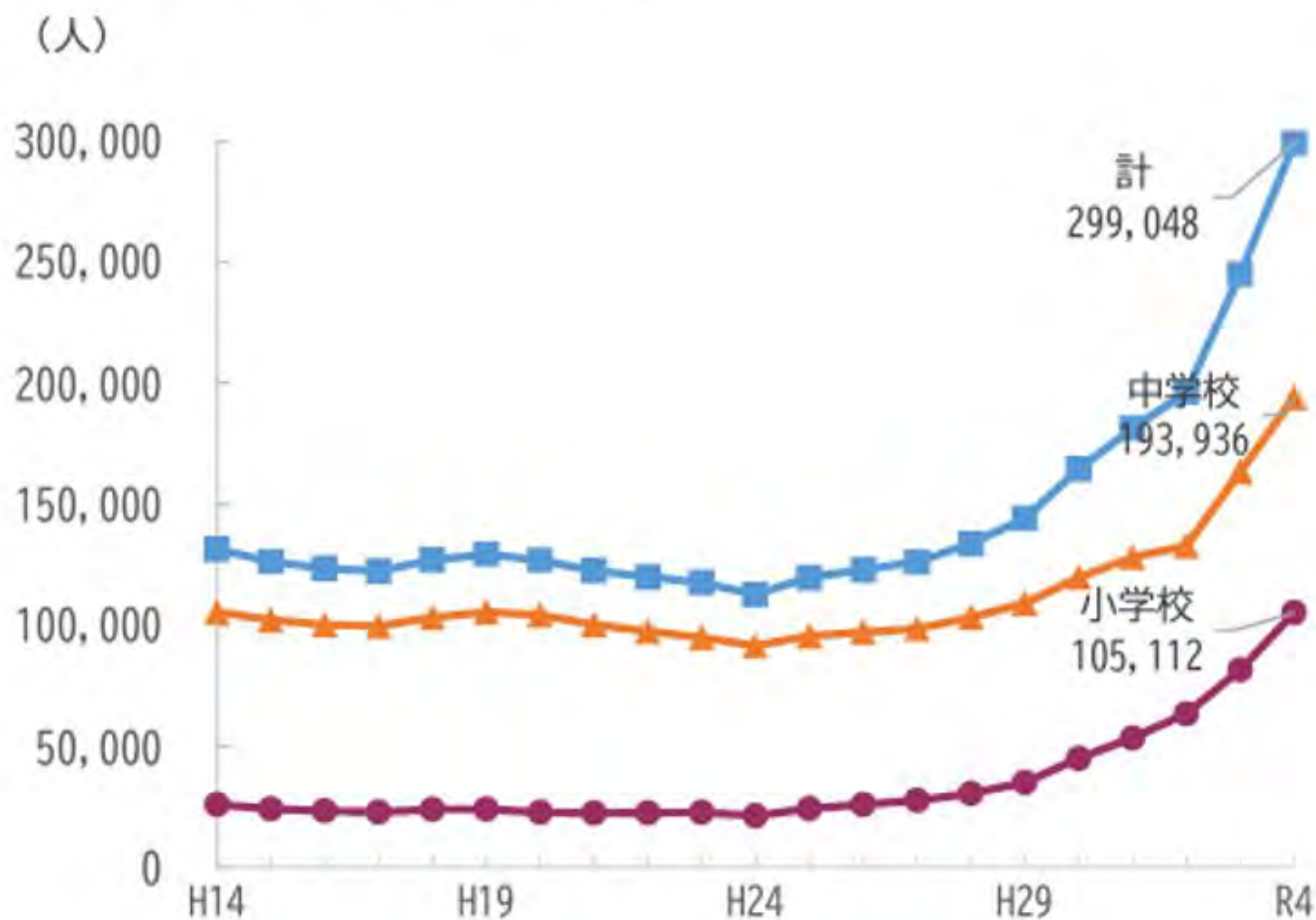


AIに奪われない仕事(主体的な仕事)

- 課題設定・創造性・共感が伴う仕事
- AIを使いこなし、新たな価値を創造する仕事
- ...



不登校児童生徒数の推移



主体性が自己肯定感を育む力ギになる



自己肯定感とは
「自分自身で決定した経験」の
積み重ねで形成される

現代の学校教育で自己肯定感が
育ちにくい理由

子どもたちの自己決定の機会が少ない

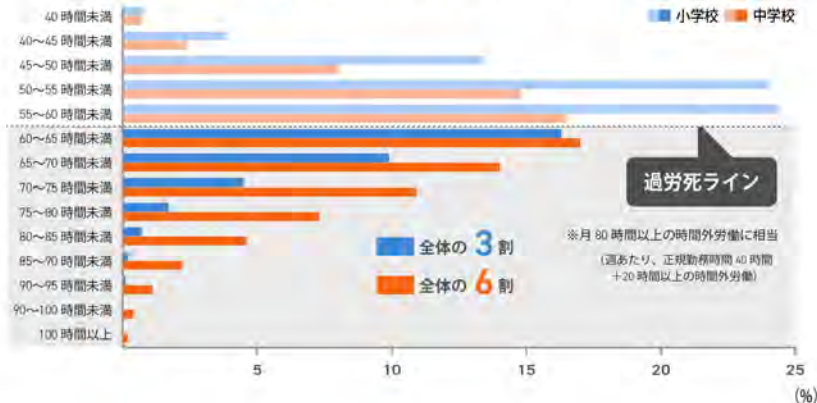
先生を取り巻く環境が大きく影響

❑ 失敗が許容されにくい環境

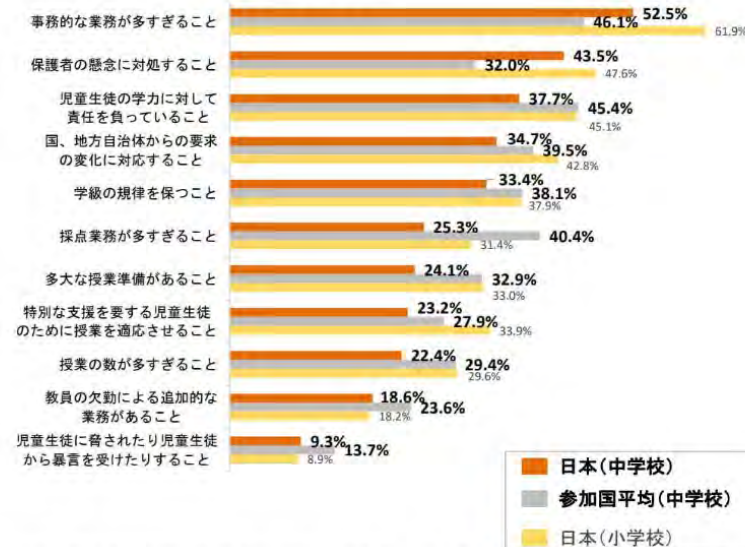
❑ 多忙な教員

教員多忙化の本質と解決策

教員の1週間あたりの学内勤務時間



教員のストレス



出所：国立教育政策研究所「TALIS2018報告書vol.2－専門職としての教員と校長－のポイント」

すべてを教員だけで抱える構造

教員が抱える業務負担

時間的負担

□ 電話対応

心的負担

□ トラブル対応

これらの業務負担を軽減するサービスを導入する必要性

デジタル学習基盤と校務支援システムの連携実践事例

校務DXに関する SasaeLの取り組み



社名	株式会社Sasael（ササエル）
所在地	東京都文京区小石川2丁目3-23
代表者	村中 順紀
事業内容	校務支援サービスの開発・運営
設立	2024年4月1日

株式会社Sasaelは、株式会社小学館のグループ会社です



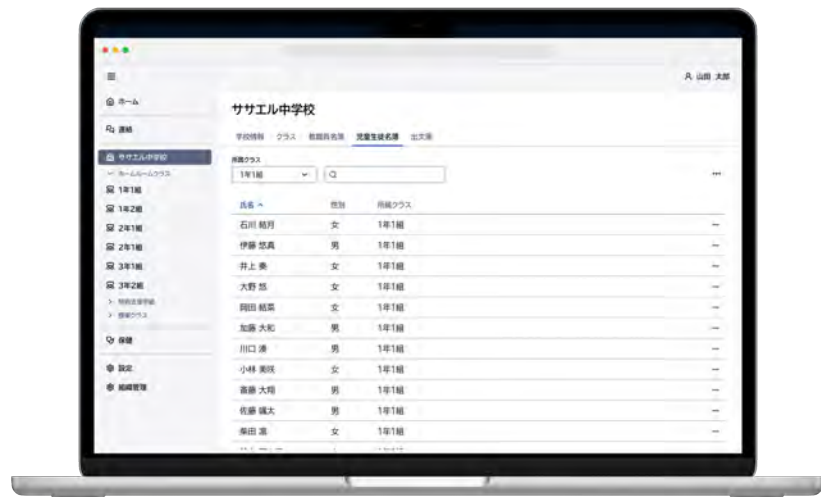
ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の
国際規格である「ISO/IEC 27001」を取得しています

Mission

先生の毎日と
子どもたちとの時間を、
もっと豊かに

先生たちの日常に新たな時間を創ることで、子どもたちの成長に関わる時間と学校内外での心のゆとりを生み出します。
子どもたちはもちろん、すべての先生の笑顔あふれる学校生活を支援し、新しい学びの環境を創り出します。

シンプルで直感的な操作性と名簿・出席・成績・通知表・指導要録まで情報が一つに繋がりに、業務の効率化を実現。先生が本来の業務に向き合う時間や子どもたちと関わる時間を増やします。また、クラウド化、ゼロトラストセキュリティ、ダッシュボード(データ連携基盤)に対応した、次世代の校務支援システムです。



使いやすさ

誰でも簡単に、分かりやすく、使いやすい

データ連携

外部サービスなどと連携し、情報の一元化

AI活用

AIが校務をサポートし、業務を軽減・削減



APPLIC オレンジマーク取得
「教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報 データ連携 小中学校版製品」において、準拠登録・相互接続確認製品マークを取得しています。

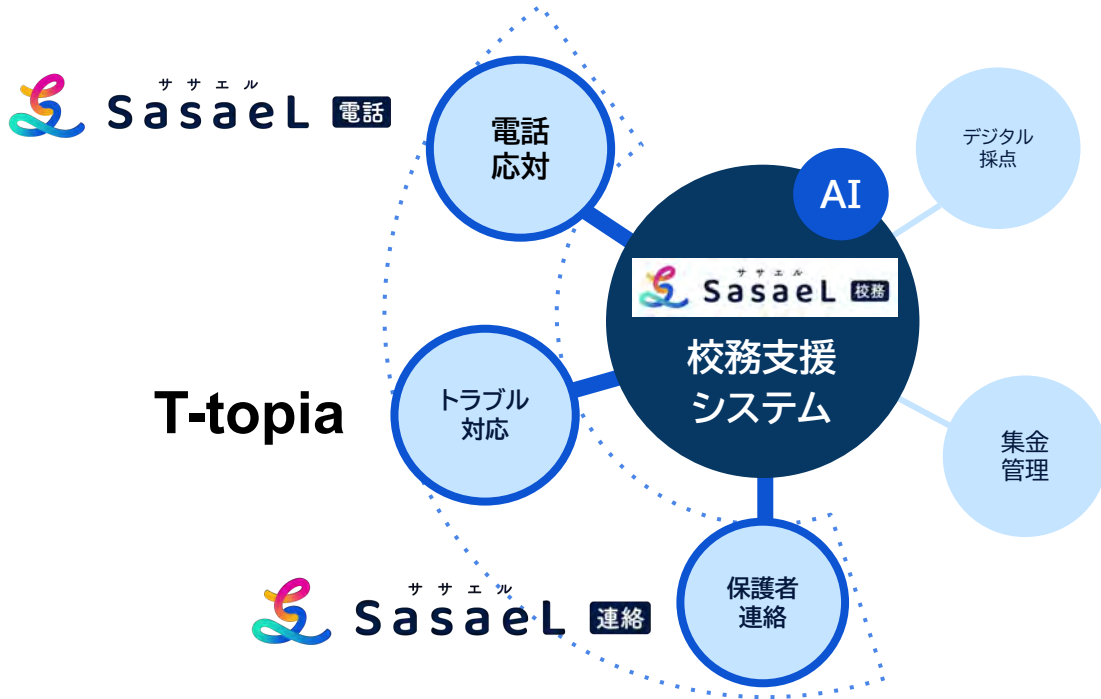
- **事務作業や地域対応、部活動等**の業務については、負担感が高く、やりがいや重要度が低い。また、**保護者・PTA対応**は、業務として重要ではあるが、負担感が高く、やりがいが低い。
- 校務支援システムが直接カバーしにくい領域においても、業務負担の軽減が求められる。

小学校	A この業務は負担である	B この業務にはやりがいがある	C この業務は重要である
朝の業務	2.42	2.47	3.34
授業（主担当）	2.60	3.62	3.88
授業（補助）	2.26	2.95	3.34
授業準備	3.15	3.33	3.76
学習指導	3.29	2.97	3.17
成績処理	3.50	2.58	3.32
生徒指導（集団1）	3.13	2.82	3.27
生徒指導（集団2）	3.02	2.63	3.25
生徒指導（個別）	3.18	2.97	3.54
部活動・クラブ活動	3.32	2.27	2.23
児童会・生徒会指導	3.07	2.68	2.93
学校行事	3.32	3.15	3.35
学年・学級経営	3.22	2.89	3.23
学級経営	3.34	2.53	3.04
保護者懇談・学年会などの会議	3.16	2.49	3.20
個別の打ち合わせ	2.94	2.81	3.44
事務（調査への回答）	3.76	1.47	1.94
事務（学級運営）	3.54	1.57	2.31
事務（その他）	3.68	1.60	2.12
校内研修	3.10	2.59	3.16
保護者・PTA対応	3.49	2.44	3.13
地域対応	3.43	2.11	2.53
行政・関係団体対応	3.30	1.94	2.35
校務としての研修	3.17	2.64	2.92
会議	3.33	2.31	2.61
その他の校務	3.19	1.99	2.74
平均	3.19	2.54	2.98

中学校	A この業務は負担である	B この業務にはやりがいがある	C この業務は重要である
朝の業務	2.26	2.54	3.44
授業（主担当）	2.39	3.64	3.86
授業（補助）	2.33	2.67	3.06
授業準備	3.01	3.33	3.73
学習指導	3.00	2.97	3.19
成績処理	3.46	2.64	3.52
生徒指導（集団1）	3.04	2.81	3.29
生徒指導（集団2）	3.02	2.67	3.27
生徒指導（個別）	3.06	3.11	3.62
部活動・クラブ活動	3.35	2.74	2.66
児童会・生徒会指導	3.06	2.81	3.07
学校行事	3.30	3.18	3.37
学年・学級経営	3.09	3.10	3.34
学級経営	3.27	2.52	3.01
保護者懇談・学年会などの会議	3.13	2.46	3.18
個別の打ち合わせ	2.87	2.83	3.51
事務（調査への回答）	3.79	1.47	1.90
事務（学級運営）	3.49	1.57	2.31
事務（その他）	3.62	1.61	2.07
校内研修	3.13	2.63	2.94
保護者・PTA対応	3.44	2.36	3.02
地域対応	3.42	2.05	2.44
行政・関係団体対応	3.32	1.87	2.27
校務としての研修	3.16	2.48	2.78
会議	3.25	2.26	2.57
その他の校務	3.14	1.97	2.15
平均	3.13	2.55	2.98

※スコアは、教員（指導教諭及び主幹教諭を含む）のうち、以下の4件法に基づく回答の集計結果の平均値。
 (1:全くそうでない、2:どちらかといえばそうでない、3:どちらかといえばそうである、4:そうである)
 ※Aについては平均値より高い項目を赤色、低い項目を青色に、B、Cについては平均値より高い項目を青色、低い項目を赤色に着色している。

- 校務支援システムは、校務の中心にありながらも、基本的には先生が手動でデータを入力し、そのデータを紙でアウトプットすることを補助するシステムにとどまっている。
- 今後は、電話対応、トラブル対応、デジタル採点、集金管理など先生の校務における具体的な業務をサポートすることが重要であり、それらによって自動的にデータを生成し、AIと連携してデータ活用ができることが重要。



学校の円滑な電話対応と効率化をサポートするクラウド型電話サービス



The advertisement features the SasaeL logo and the text "ササエル SasaeL 電話". A circular badge on the right indicates "2025年リリース予定" (Planned for release in 2025). The main headline reads "先生の電話対応を、もっとスムーズに。" (Make teachers' phone handling even smoother.). Three callout bubbles highlight key features: "回線制限なく同時に受発信ができる!" (Can receive and make calls simultaneously without line restrictions!), "自動録音や文字起こしで、通話内容が簡単に共有できる!" (With automatic recording and transcription, call content can be easily shared!), and "営業電話は自動音声で対応!" (Business calls are handled with automatic voice!). At the bottom, a smartphone displays the number "090 1234 5678" and a laptop shows the SasaeL web interface with a table of student information. A button labeled "電話をかける" (Make a call) is positioned near the laptop.

ササエル SasaeL 電話

2025年
リリース
予定

先生の電話対応を、もっとスムーズに。

回線制限なく同時に受発信ができる!

自動録音や文字起こしで、通話内容が簡単に共有できる!

営業電話は自動音声で対応!

電話をかける

■電話対応のこんなお悩みを解決

- ・電話回線が限られているため、放課後に電話待ちが起こる…
- ・通話が長くなるとメモを取るのが難しく、正確に共有できているか不安…
- ・電話で“言った・言わない”のトラブルを防ぎたい…

＼ SasaeL 電話で先生の電話対応の負担が軽減！ /



① 電話の待ち時間がゼロ

- 回線数を気にせず、いつでも発信が可能
- 朝や放課後の混雑する時間帯でもスムーズに対応

② 自動録音・文字起こし・要約で情報共有が簡単に

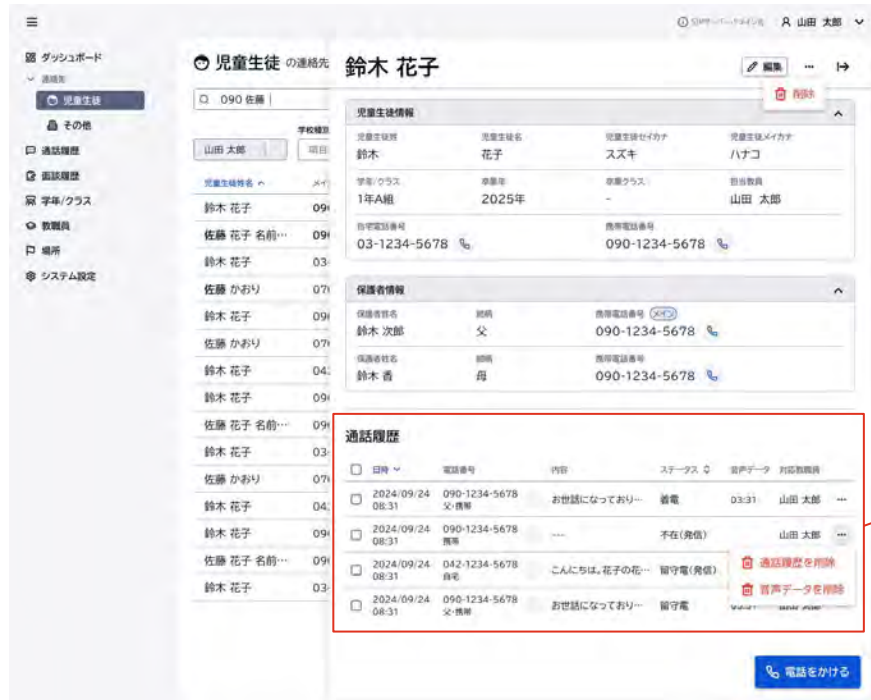
- AIが通話内容を自動で録音・文字起こし・要約し、正確な情報を簡単に共有
- 通話録音により電話トラブルや長時間通話を減少

③ 営業電話や業務時間外の対応も安心

- 日中の営業電話は自動音声で応答し、不要な対応を削減
- 業務時間外の電話は、留守番電話が対応しメッセージを記録

「SasaeL 電話」の画面(一例)

電話帳(連絡先、通話履歴)



The screenshot shows the '児童生徒の連絡先' (Student Contact) section for 鈴木 花子. It includes a sidebar with navigation options like 'ダッシュボード', '連絡先', '通話履歴', '学年/クラス', '教職員', '場所', and 'システム設定'. The main area displays '児童生徒情報' (Student Information) and '保護者情報' (Guardian Information). A red box highlights the '通話履歴' (Call History) table, which lists calls with columns for date, time, phone number, content, status, and duration. A red arrow points from the '通話履歴' table to the '通話履歴詳細' (Call History Details) screen on the right.

日時	電話番号	内容	ステータス	音声データ	対応教職員
2024/09/24 08:31	090-1234-5678 父・携帯	お世話になっており...	着電	03:31	山田 太郎
2024/09/24 08:31	090-1234-5678 携帯	...	不在(発信)		山田 太郎
2024/09/24 08:31	042-1234-5678 自宅	こんにちは。花子の花...	留守電(発信)		
2024/09/24 08:31	090-1234-5678 父・携帯	お世話になっており...	留守電		

通話履歴(録音データ、文字起こし、要約、メモ)



The screenshot shows the '通話履歴詳細' (Call History Details) screen for a call on 2024/09/24 08:31. It includes a '基本情報' (Basic Information) section with fields for '発信元' (Origin), '日時' (Date/Time), '電話番号' (Phone Number), 'ステータス' (Status), and '優先度' (Priority). Below this is a 'メモ' (Memo) section with a text input area. The '録音データ' (Recording Data) section shows a progress bar and a '録音データ書き起こし' (Transcription) button. The '録音データ書き起こし' (Transcription) section displays the transcribed text of the call, including a summary and the full transcript.

基本情報

発信元: 鈴木 花子 | 日時: 2024/09/24 08:31 | 電話番号: 090-1234-5678(父・携帯) | ステータス: 留守電(発信) | 優先度: 高 | 担当教職員: 山田 太郎

メモ

メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。メモのテキストが入ります。[文字数1000/3000くらい?]

録音データ

03:31 | 録音 | 削除

録音データ書き起こし

AI要約

- 松浦さんがおはようございますと挨拶し、おまぐのの様子を尋ねる
- 平山亮太の母がおはようございますと挨拶し、筑紫野有科道路の渋滞で遅れることを伝える
- 弟の平山くんと一緒に遅れると伝える
- 松浦さんが丁寧に話し、連絡を入れることを伝える
- 松浦さんが気をつけてきてねと伝えて終了する

録音データ書き起こし

話者A: テキストが入ります。テキストが入ります。テキストが入ります。テキストが入ります。テキストが入ります。
話者B: おはようございます。おまぐの母がいます。はいはいはい、おはようございます。あらはい、そうなんです。はいはい、わかりました。おまぐくんは。
話者A: おはようございます。お世話になっております。高松3年4組の平山亮太の母ですが、すみません、今おはようございます。筑紫野有科道路はちょっと大渋滞で、結構まだ時間がかかります。それで、そこで、ちょっとはい遅くなるということです。すみません。
話者B: あ、弟も一緒です。多分まだまだえっと3年1組中3の3年組の平山くじです。すみません、再度ではいようしくお願います。はい、失礼します。
話者A: わかりました。連絡入れときます。いいえはい、気を付けてきてください。はい、失礼します。

東明館中学校・高等学校での事例

導入前の課題

- ・電話対応の記録が残らない
トラブル発生時の原因究明が困難
- ・「言った・言わない」問題
保護者との認識ズレが発生しやすい
- ・手動での電話振り分けによる負担
事務室での負担が大きい



導入後の効果

- ・通話の自動録音・文字化
全通話の記録とすぐに確認が可能に
- ・トラブル対応力の向上
録音確認により適切かつ迅速な対応・報告
- ・自動で電話の振り分けが可能
中学校・高校への自動分岐により負担軽減

T-topia



AIがトラブル対応をサポート
学校現場のトラブル対応を、AIが迅速に、的確に支援

いじめ、不登校、保護者・地域の苦情対応など
複雑化する学校現場のトラブルを
専門AIがチャット形式でご支援します

**AIがワンストップで
サポートするので安心**

トラブル発生時から解決方法、報告書
作成まで一括サポートし負担軽減

**適切なアプローチ方法
をすぐに提案**

トラブルの状況に応じた最適な
対応方法を瞬時に提示

**学校全体で
スムーズに対応**

AIが報告書を自動生成し、
迅速な情報共有や対応が可能

操作方法是簡単！ 4つのステップで解決へ

1

トラブル内容入力

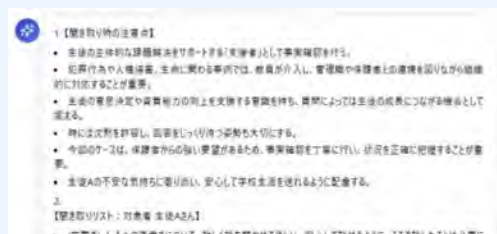
トラブル内容を手動または音声入力



2

対応策が提示

解決に向け、現時点でのリスク・注意点、聞き取りのポイント、今後の留意事項が提示



3

聞き取り内容の登録

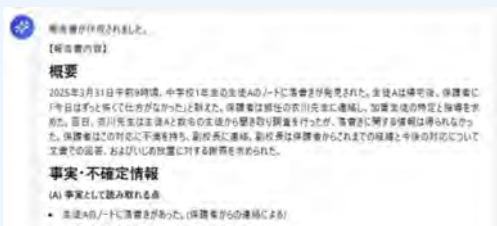
関係者との聞き取り内容を登録



4

AIが自動で報告書を作成

概要、事実・不確定情報、経緯の時系列、対応方針、注意事項・特記事項を整理



東明館中学校・高等学校での事例

導入前の課題

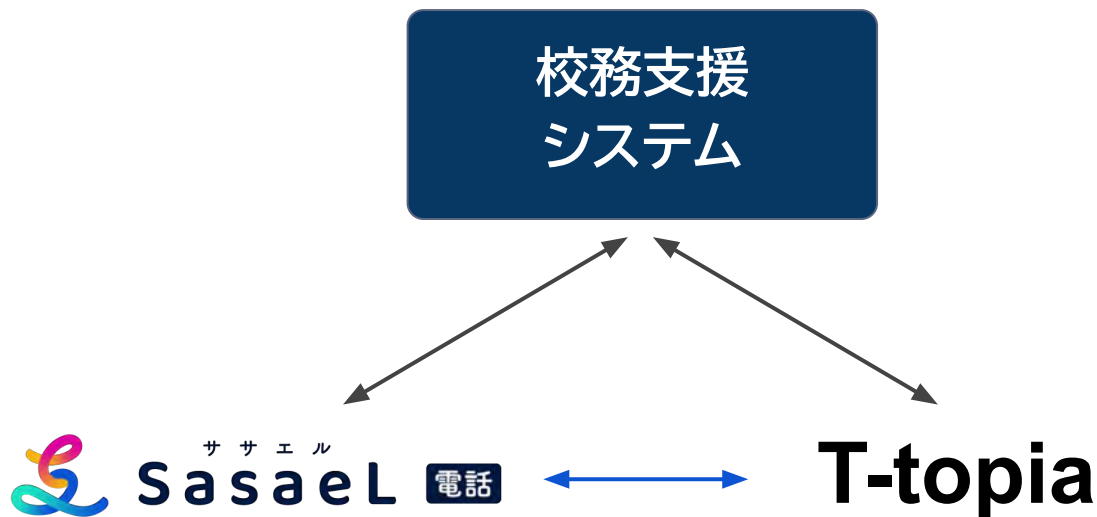
- ・トラブル情報が分散
トラブル時の記録がバラバラで、
体系的に蓄積されていない
- ・対応が属人化
教員ごとに対応方法が異なり、
対応品質が不安定
- ・情報共有の負担が大きい
聞き取り内容の整理・共有に時間がかかる



導入後の効果

- ・トラブル情報の一元化
過去事例がすぐに検索でき、
再発防止策や指導の参考に活用できる
- ・対応力向上
適切な対応方法が提示されるため、
対応品質を平準化
- ・すぐに情報共有が可能
AIが要点を自動整理し、報告書を作成

SasaeLの校務支援システム「SasaeL 校務」と連携しつつ、他社校務支援システムとも連携することで、先生方の校務負担を軽減していきます。



「SasaeL 電話」と「T-topia」が連携することで、
通話内容から自動でトラブル情報が反映され、よりスムーズな対応を実現可能



先生の毎日と
子どもたちとの時間を、
もっと豊かに

NEXT GIGA の
「個別最適な学び」と「校務DX」

パネルディスカッション

NEXT GIGAにおける これからの学校のあり方

ゲスト登壇者のご紹介



デジタル庁
国民向けサービスグループ
企画官（教育班担当）

久芳 全晴 様

省庁



奈良市教育委員会事務局
教育DX推進課
教育ICT推進係長

米田 力 様

教育委員会



学校法人東明館学園 理事長・校長
文部科学省 中央教育審議会
初中等部会臨時委員
宮崎市教育CIO
株式会社COMPASSファウンダー

神野 元基 様

学校



株式会社SasaeL
代表取締役社長

村中 順紀 様

事業者

テーマ1

校務DXの推進プロセスにおける 課題とその解決方法は？

テーマ1

校務DXの推進プロセスにおける課題とその解決方法

自治体や事業者の取り組みに対する
省庁としてのサポートは？

テーマ2

校務DXの取り組みによる 先生/子供たちの変化は？

テーマ2

校務DXの取り組みによる先生/子供たちの変化は？

**現場の変化・成功事例の収集と
現場へ還元していくための取り組みは？**

テーマ3

校務DX、その先の“学校のあり方” について今後の展望は？

教育現場を内側からアップデートする
オンラインサロン開設記念イベント

現役校長 & 元校長による公開企画会議

冒険するコミュニティをつくろう

5月1日(木) 20:00~21:00

オンライン開催

参加無料



神野 元基

東明館学園 理事長・校長
ASPARK株式会社 発起人

#未来 #テクノロジー
#批判より提案を



赤司 展子

前札幌新陽高校 校長
ASPARK株式会社 CEO

#多様性 #越境キャリア
#対立より対話を



柴山 翔太

福岡女子商業高校 校長

#挑戦 #マインドセット
#やってみなくちゃわからない

主催：ASPARK株式会社

参加申込はこちら
(peatixより)



イベント参加の皆さんへの メッセージ

NEXT GIGA の 「個別最適な学び」と「校務DX」

子どもたちも、先生も、**誰一人取り残さない教育DX**のこれから